

松本重治 まつもと しげると 評論家。明治二十一年十月一日大阪生れ、平成元年一月十日歿（二八九九—一九八九）。大正十一年東京帝國大學法學部卒。エール大學等小留學。新聞聯合社上海支局長を経て、昭和十五年同盟通信社編輯局長。戰後辯護士開業、二十七年國際文化會館を設立（事務理事、理事長）も、アメリカカ學會會長に就任。また外務省參與の傍ら民間外交に貢献した。五十一年文化功勞者。

著書『勞農聯邦研究』（合著・社會思想社編、昭和二十一年十一月十日春秋社）『社會思想研究叢書』（ビーアド著、改譯アメリカ合衆國史）全二冊（岸村金次郎共譯、上巻・昭和二十九年一月二十五日、下巻・二十一年六月二十日岩波書店）、同『アメリカ精神の歴史』（高木八尺共譯、昭和二十九年七月二十日岩波書店）『岩波現代叢書』（トインビー著『歴史の教訓』（編訳、昭和二十二年五月二十日岩波書店）、シヨーシ・ケナン著『アメリカ外交の基本問題』（編訳、昭和二十年六月二十日岩波書店）、『われらの生涯のなごの中國』（六十年の回顧）』（合著・阪谷芳直編、昭和五十八年十一月八日みすず書房）等。